

レジェンド競り勝つ



打撃時の衝撃を低減

新防具 部員に好評

「ダメージ少ない」

徳島大日本
拳法部指導員

山下さん開発

山下さんが開発した防具を着けて練習する様子も。徳島市南常三島町1

徳島大学日本拳法部で指導をしている徳島市川内町加賀須野、会社経営山下佑治さん(58)が、打撃時の衝撃を低減させることができる「徳大式拳法防具(面とグローブ)」を開発した。「頭に打撃を受けたときのダメージが少なくなった」と部員たちに好評。山下さんは「練習中の事故をなくすためにも広めていきたい」と話している。日本拳法は面と胴、グローブの防具を装着し、装着箇所への打撃を有効打とするスポーツ。練習でも激しく殴り合うため、脳震盪などを起こすことも少なくない。徳大式防具では面の内側を柔らかくクッションの役割を果たす面布団を、従来の木綿地から衝撃吸収性の高い高密度ポリウレタンに変更。顔部には衝撃吸収部を設け、打撃負担を緩和させている。グローブの内側の硬



記録・情報は本社運動部へ

電話 088(655)7246
FAX (0120)333414
メール awaspo@topics.or.jp

柔道



◆美馬市文化祭協町少年
錬成大会(11月23日・協
町武道場)
【団体】AチームII高
学年の香川山田スポーツ少

小松島市スポーツ少③協町少年
教室④阿波市教室V B
チームII低学年①香川山
田スポーツ少②阿波市教室③
協町少年教室④小松島市
スポーツ少
【個人】幼年奨励賞
妹尾純希、岡本啓吾、岡
田元、関英輝、新居勇貴
(以上阿波)天羽悠貴、
片岡京介、近藤晴香、杉
少の

全国でも採用の動き

徳島大学工学部建設工学科の
橋本親典教授は「想定していな
いので数値では分からないが、
額部を改良したことで面全体で
打撃を受けることにな
り、衝撃は分散され
る。高密度ポリウレタ
ンも衝撃吸収には適し
た素材」と説明する。
山下さんは1972
年から指導している同
部OB。長年、防具の
危険性を懸念してい
て、今春から新しい防
具の制作を始めてい
た。現在、全国の拳法
連盟などが所属する日
本拳法会(大阪府)
が、実用化へ向けての
検討を始めているとい
う。

同部の石川貴之主任
(21)3年IIは「衝撃
を顔全体で受け止める
感じで、練習後にダメージが残
りにくい」と効果を実感。山下さ
んは「これまでの防具では顔に
与える衝撃が大きく、障害が残
るなどの重大な事故につながる
こともあった。日本拳法をして
いる人は、新しい防具を試して
もらいたい」と言っている。

26 ◆第21

海

◆第2

20

00000010
01

▽決勝